

校訓	「誠実で信頼される人に」	目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細かく丁寧な教育をする学校 ・夢と感動のある学校 ・地域に信頼される学校
基本理念	「教師が変われば生徒が変わる。生徒が変われば学校が変わる」を基にして、生徒一人ひとりを大切に、自己実現を図ることができる教育		
重点項目	<p>1 学習指導関係</p> <p>①3科の特性を生かした学習とICT教育の推進と共に資格取得の徹底を図る。</p> <p>②学習規律を図り、生徒に「分かる授業」を展開し、学習実績を上げる。</p> <p>③生徒が目指す進路実現を図る。</p> <p>2 生活指導関係</p> <p>①規範意識の向上と基本的な生活習慣を確立及び挨拶の奨励。</p> <p>②全教職員の共通理解の下、事前指導に徹する。</p> <p>③生徒を無視しない。また、生徒に無視されない教師を心がけ、生徒との信頼関係を確立する。</p> <p>3 その他</p> <p>①責任体制を明確にする。</p> <p>②学校行事は全職員で取り組み、整然と行う。</p> <p>③保護者、中学校、地域から信頼される学校を目指す。</p> <p>④1日の朝礼から終礼までの全ての授業・会議・集会等の時間厳守のこと。 (5分前行動徹底)</p>		
評価項目	取組内容	具体的方策	評価結果と次年度への取組
学習指導 (教務課)	<p>1 基礎学力の定着と向上</p> <p>2 ICTを活用した教育の充実</p> <p>3 資格取得の推奨</p> <p>4 教員の学習指導力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生、2年生で習熟度別授業を展開して、生徒の理解度に応じた授業を展開し、分かる喜びや自信を与え、学習意欲を高める。 ・学習習慣の定着を図るために各教科と連携し課題を課す。 ・朝学習を行い基礎・基本の学習を行う。 ・各教科でICTを活用した授業を行う。また、研究授業週間を設定し、各教科のICTを活用した授業を共有する。 ・資格取得の必要性を理解させるため、ガイダンスを行う。 ・資格取得に向けて各資格に対する補習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、ICT教育の一環としてタブレット(Surface)を導入した授業展開に努めた。また、1人1台のタブレット(Surface)を活用してこれからの時代に必要不可欠なスキルとされる「情報創造力」「コミュニケーション力」「問題解決力」などの育成にも努めた。 ・次年度はICT教育のさらなる充実を図るため、アプリケーションの選定をする。 ・習熟度別授業の展開や朝学習での学び直しにより、基礎学力の定着や向上に繋がった。次年度も継続して行う。 ・技能検定・ITパスポート・CGクリエイター検定等の各

		<ul style="list-style-type: none"> ・学習実態調査、研究授業や教員研修を通して教員の力量向上を目指す。 ・教員と保護者との連携を強化する。 	<p>資格取得率を向上させることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ICT機器を授業に」をテーマに教員研修を行い使用方法、授業展開等を研究した。今後も継続して研修を行う。
生活指導 (生活指導課)	<p>1 生活学習態度の強化</p> <p>2 予防啓発活動の充実</p> <p>3 日々丁寧な指導の充実</p> <p>4 自転車マナーの向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活学習改善を柱として指導の徹底を図る。 ・講話や外部講師による講演会により、保護者と協力した啓発活動を充実させる。 ・生徒の心に寄り添い、根気よく生徒指導にあたる。 ・登下校指導を行うことにより登下校マナーや自転車運転マナーの向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・品性ある身だしなみや気持ちの良い挨拶をする生徒が増えてきている。登下校指導やアトリウムでの指導を継続し、さらにマナーやルールを守る意識の定着を図る。 ・今後もN T Tや瑞穂警察署、愛知県助産師会の方と連携して有意義な講演を実施して、SNSや男女交際、交通安全等についての啓発を行っていく。
進路指導 (進学指導課)	<p>1 進路目標実現に向けての進路指導</p> <p>2 基礎学力の向上</p> <p>3 基本的な学習習慣および生活習慣の確立</p> <p>4 校内で連携をとり、生徒の確実な進路実現を目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通年で進学補習を計画実施する。 ・進路ガイダンスを計画的に実施し、進路意識向上に努める。 ・実力診断テストを実施し、学習指導、進路指導に活用する。 ・模擬面接や個別指導の充実に努める。 ・各学年で保護者対象の進学説明会を実施し、情報を提供する。 ・オープンキャンパスへの参加を促す。 ・スタディサプリ、電子黒板、タブレットなどを活用し、学習習慣の定着と基礎学力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は大学進学を目指す生徒が増加した。総合型選抜や学校推薦型入試では学力試験以外で口頭試問やプレゼンテーションなどが課される大学が多い。基礎学力を定着させるとともに、大学説明会や研究会に参加して、最新の情報収集をし、学年集会や進路説明会で情報発信していく。 ・従来から実施している実力診断テストの他に、外部模試なども活用してさらなる学力の向上と定着を図る。 ・進学補習、スタディサプリ、ロイノートなどを活用して、生徒がさらに効果的に学習を進めることができようように研究を継続していく。

<p>進路指導 (就職指導課)</p>	<p>1 就職行事の充実</p> <p>2 進路意識の向上</p> <p>3 礼儀やマナーを身につけさせる</p> <p>4 基礎学力の育成</p> <p>5 職業観の育成</p> <p>6 企業開拓・企業との良好な関係を築く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就職講話・ガイダンス・模擬面接等を計画実施する。 ・各学年において保護者対象の就職説明会を実施する。 ・各地の合同企業説明会、ハローワーク主催の行事に積極的に参加する。 ・学年と協力し朝学習、総合学習、学校設定科目の就職演習において就職試験問題対策に取り組む。 ・地元事業所の協力を得てインターンシップを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就職希望の生徒 160 名に対して求人は、昨年度より 1 割増加の躍 2,000 名で、12 倍であった。 ・就職指導において S P I 試験を実施する企業が増えてきているため、次年度より S P I 試験対策問題に取り組むことにする。 ・本校への求人一覧や各企業の求人票を、生徒のスマートフォンやパソコンで閲覧できるようにして利便性を向上させた。 ・インターンシップの参加希望者が多く、8 月と 12 月に分けて実施した。次年度も継続して実施する。
<p>特別活動 (生徒会) (地域交流係)</p>	<p>1 生徒会活動の活性化</p> <p>2 部活動の活性化と充実</p> <p>3 地域貢献を目指した活動</p> <p>4 募金・ボランティア活動を通じて相互扶助の精神を育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会行事を通し、生徒の情操教育を図る。 ・代議員会を開催し、クラストの繋がりを深める。 ・ホームページを活用し、部活動の成績をより多くの方に知らせる。 ・「土曜セミナー」を年間 4 回実施し、地域と生徒の繋がりを深める。 ・タウンサークルを年 3 回、各学期初めに実施し、地域の方々と相互理解を図る。 ・地域で開催される行事に積極的に参加する。 ・エコキャップ運動を継続実施する。 ・災害における募金活動を実施する。事前、事後指導にも力を入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球技大会は協力してやり遂げたことで大きな達成感を得ることができた。享栄祭はコロナ禍のため中止し、代替として遠足を行った。 ・ソフトテニス部、ボクシング部が全国大会への出場を決めた。ホームページでの報告内容を充実させ、報告回数を増やすことができた。 ・1 月のみ地域清掃ボランティア活動を実施し、地域との繋がりを改めて掴み取ることができた。 ・新型コロナウイルス感染症の感染予防と地域の皆様の健康を第一に考え、年間を通して開催を中止した。 ・区役所主催ヤングサポーターみずほ、ゼロの日の交通安全指導などの行事に参加し、生徒会活動への理解を得ることができた。次年度も積極的に参加していく。 ・地域の方々からもご協力いただき、今年度も多くのペットボトルキャップの回収ができた。 ・7 月に熱海豪雨災害募金を実施した。募金の前後に生徒会新聞などを通じてお互いに助け合う気持ちを育むことができた。

<p>学校管理 (総務課)</p>	<p>1 施設設備の管理</p> <p>2 式典等の円滑な運営</p> <p>3 防災意識の向上</p> <p>4 P T A活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各教室の点検一覧表を作成した。 ・各種式典の円滑な運営を図るとともに、昨年度に引き続き、名古屋市公会堂で卒業式を実施する。 ・年に2回の防災教育を計画し、防災ビデオの視聴や避難誘導訓練を実施することで、教員・生徒の防災意識を向上させる。コロナウイルス感染対策のため、9月はビデオ視聴とホームルームのみ行う。 ・P T A委員会を年間5回計画、また各学期末に教員と保護者の親睦ボーリング大会等、コロナウイルス感染対策を考慮して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の点検を効率化し、迅速な対応に努めた。 ・卒業式については、コロナウイルス感染拡大の影響により卒業生、保護者、教職員の参加のなか、感染予防対策を徹底し、円滑に実施することができた。 ・コロナウイルス感染対策により、年2回の防災教育では避難誘導訓練は実施できなかった。映像を使った防災教育を行い、生徒の防災意識を向上させることができた。 ・コロナウイルス感染拡大の影響で土曜セミナー、享栄祭などすべての行事に保護者は参加できなかった。年5回の委員会も学校で開催できず、校外の会場を借りて実施した。その中でも、P T Aたよりの発刊等、委員会でやれることについては活動することができた。
<p>学校保健 (保健厚生課)</p>	<p>1 心身の健康の保持・増進</p> <p>2 健康な生活を送る実践力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係する教員と必要な連携をとり、保健室を利用する生徒へ適切な対応をする。 ・年間の健康診断を計画して実施し、生徒の健康管理及び保健指導を実施する。 ・5 S（整理 整頓 清掃 清潔 習慣）運動を柱として、美化意識を高める。 ・年間を通して美化委員の生徒を中心に清掃点検を行い校内の美化に努める。 ・感染症対策として予防啓発や各教室に手指消毒液を設置し、発生状況の把握と校内の消毒を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心身に不安を抱えた生徒の早期発見に努め、関係する教員と連携して対応した。 ・清掃点検を実施し、不備な箇所については、再度清掃後に再点検を行った。今後も清掃活動を充実させ、校内美化に取り組んでいく。 ・感染症対策として、定期的に教職員での校内清掃を実施した。また、生徒の登校時に不織布マスクの着用を徹底させ、手指消毒の指導と検温を行った。

<p>学年指導 (1学年)</p>	<p>1 本校生徒としての自覚と誇りを養い、教育活動が生徒に円滑に浸透するための素養をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣を整えて、自律した行動がとれる生徒を育てる。 ・ 主体的な学習習慣の定着と基礎学力の涵養を図る。 ・ 教育活動を通して人間力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間を厳守することで多くの生徒が基本的な生活習慣を確立させた。 ・ 挨拶の励行、丁寧な言葉遣いを意識することで高校生としての自覚が芽生え、規律ある行動につながった。 ・ 朝学習を実施することにより学力の向上を図り、自主的に学習に取り組める環境をつくった。結果として、授業後も自ら学習に取り組む生徒が増加した。
<p>学年指導 (2学年)</p>	<p>1 中核学年としての自覚と誇りを養い、自己の進路目標の設定、それに必要な学力を身につけさせ、資格取得を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に行動がとれるようにする。 ・ 学習習慣の定着と進路目標に必要な学力向上を図る。 ・ 教育活動を通して人間力を育成する。 ・ 補習を行い、上級検定試験の取得率を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶や時間に対する意識は、昨年度より継続してできている。次年度は最上級生として後輩の良き手本となるよう意識を高めさせる。 ・ 進路を見据えて、学習や資格の取得に励むことができた。次年度の進路決定に向けて丁寧な指導を継続して行う。
<p>学年指導 (3学年)</p>	<p>1 進路目標実現に向け最後まで根気強く最善を尽くす生徒を育てる。また、最上級生として品位と誇りをもった生徒を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に行動がとれるようにする。 ・ 進路目標実現に必要な学力の定着や資格取得の向上を図る。 ・ 教育活動を通して人間力を育成する。 ・ 保護者と協力・連携し、生徒指導・進路指導にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の進路実現を目標に、学年全体で指導に取り組んだ。その結果、学習面や生活面において向上することができた。卒業後のことも踏まえて、継続して指導していきたい。 ・ 進学や就職において、丁寧な指導を心掛けた。その結果、生徒が希望の大学や就職先に向けて努力し、合格することができた。 ・ 2年次より継続して保護者との連携を図った。その結果、生徒の進路実現に対して協力して取り組むことができた。
<p>生徒募集 (入試広報室)</p>	<p>1 募集活動と情宣活動の充実</p> <p>2 体験入学会・学校説明会の計画・実施</p> <p>3 広報活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を5期に分けて生徒募集のための中学校訪問を実施する。 ・ 体験入学会は夏期休業中に2回実施する。 ・ 学校説明会は10月30日(土)から12月第1土曜日までの毎土曜日(6週連続)に実施する。 ・ 私学展や中学校主催の進路説明会、講演会に参加し、 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校訪問などを利用して募集活動を行っている。入学後の学習状況や生活状況、卒業生の進路状況などの情報提供は、中学校から高く評価されている。 ・ 「面倒見の良い学校」としての本校への信頼にもつながっているため、今後も継続して行う。 ・ 体験入学会や学校説明会の参加者のうちおよそ60%の生徒

		<p>情宣・広報活動を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市内の学習塾を中心に、塾への広報活動を行う。 	<p>が本校を受験している。講座の内容を工夫し、本校の特色や良さを中学生や保護者に理解してもらえるようにする。また、学校説明会での生徒会の生徒による校内案内は参加者から好評であるので、今後も継続して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの一層の活用を図る。
--	--	--	--